

**印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第6回会議 会議録（概要版）**

議 題	施設整備基本計画検討委員会第6回会議
日 時	平成27年10月17日(土)13:00~15:45
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（欠席1名、松崎区未選出）、事務局：7名、関係市町：3名 コンサル：3名
配付資料	・第6回会議次第 ・第6回会議資料 ・資料外別添① ・資料外別添② ・参考資料1

主 たる 事 項	説明・指示
----------	-------

<p>1. 開会</p> <p>(1) 会議録の署名は、山崎委員、宮内委員が行う。</p> <p>2. 会議録（第5回会議）について</p> <p>(1) 概要版を資料外別添①として配布</p> <p>3. 地域振興検討委員会第5回会議の報告について（主な報告内容）</p> <p>(1) 地域振興策総合パッケージについて中間決定（案）の決定</p> <p>(2) 地域振興策事業スキームについて、関係者役割分担審議</p> <p>(3) 地域振興策の展開スケジュール</p> <p>4. 意見書について</p> <p>(1) 提出が無かった旨報告</p> <p>5. 処理方式の選定について</p> <p>(1) 各方式とも評価記載はまとまりがあり、妥当である。</p> <p>(2) 焼却方式は、ストーカ式が優位とする。</p> <p>6. エネルギーバランスについて</p> <p>(1) 焼却炉の年間稼働日数が、2炉運転166日となっているが、2炉の連続運転期間は最長30日程度になると考えられるため、留意が必要である。</p> <p>(2) 焼却炉の運転は、ごみ量、点検・補修時期等を考慮して操炉計画を策定しており、各炉の連続運転日数は、1号炉60日間→1,2号炉30日間→2号炉60日間といったサイクルでの運転日数をベースに検討を行った。</p> <p>(3) 全炉停止が7日間と記載されているが、最大7日のように読み取れる。故障が想定される箇所については点検を行っているため、故障はほとんどないが、温水センターへの蒸気を送る配管が破裂したこともあり、法定点検のほかに故障等で全炉停止することもあるため、最低7日間の全炉停止である旨を記載する必要がある。</p> <p>(4) 施設の負荷は、管理棟やリサイクルセンターでのエネルギー使用を考えている。ストブローなどの設備によるエネルギーの利用は、図2、3の左側の円グラフのオレンジ色に該当する。また、右側の円グラフは、左側の円グラフのエネルギー回収率（青色の扇形）の内訳を示している。左右のグラフの関連がわかり難いため、工夫する。</p> <p>7. 排ガス自主基準値について</p> <p>(1) 厳しい自主規制値の設定は、設備費や薬剤費の高騰に繋がり、薬剤量の増加は環</p>	
---	--

境負荷にも繋がる。近隣の施設の船橋北部の基準値を参考に表-4の排ガス自主基準値は妥当と考えられる。

- (2) 資料の表3と表4の間には説明がなく、周辺施設の基準値の比較をもとに決定したように感じるため、何らかの説明が必要である。
- (3) 基準値は、乾式法により達成できる範囲と考えている。
- (4) 地域住民の方に安心して頂くための自主基準でもあるので、運用ルール(基準値超過時の対応等)についても、今後協議していく必要がある。

8. 施設整備基本計画(その1)について(造成、アクセス道路)

- (1) 造成計画は、平面施工と掘下げ施工の選択となっているが、これまでの吉田区の要請(掘下げ施工)を反映したものではないため、再検討する。今回の資料は取り下げる。
- (2) 総事業費や建物の高さなど、想定内で示すことができるものを出して欲しい。
- (3) アクセス道路については、既存の道路(松崎-吉田線)を活用することを条件として5案を提示しているが、前提条件や最終的なルート決定の期限などの情報が欠落しているため、基本的な条件を整理したうえで、再検討する。アクセス道路についても、資料を取り下げる。

9. その他

- (1) 次回の第7回検討委員会は11月15日(日曜日)13時から開催であるが、現施設の法定点検のため、開催場所については別途連絡をする。

※傍聴者：3名